

# 知性と感性をコンピュータで活かす！

分野（知能情報科学、ヒューマンインタフェース工学、感性工学、人間中心システム）

## 知能情報科学&ヒューマンインタフェース研究室

（場所：総合研究棟 4階 401号室）

<http://kjs.nagaokaut.ac.jp/yamada/yamada-lab/index.html>

メンバー（山田耕一、畦原宗之、博士後期課程×3名、修士2年×1名、修士1年×6名、学部4年×4名）

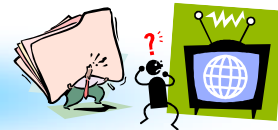
堅くて融通の利かないコンピュータを、より柔軟に、より使いやすくするための理論や技術について研究しています。この分野には大きく分けると2つの研究の方向があります。一つは、人間の特性を考慮して、コンピュータを道具としてより使いやすくする研究、もう一方は、コンピュータに考える能力や感じる能力を持たせることで使いやすくする研究です。本研究室では後者の研究を中心しつつ、前者についても取り組んでいます。



コンピュータって、使いにくい・・・



ケータイの機能って複雑・・・



世の中に氾濫するいろんな情報って、  
ケッコウ分かりにくい・・・

“人間らしい考え方や整理方法”  
“意図推論”, “対話処理”, “学習と適応”  
“感性工学”, “ソフトコンピューティング技術”, ...



**感性に訴える、独創的なモノデザインを目指せ！**  
“感性と独創性を考慮したデザイン支援システム”  
“対話型コンセプトデザイン支援システム”



**経験やデータから知識を作り出そう！**  
“不確実性を含む情報からの推論、学習”  
“ネットワーク診断情報からのデータマイニング”



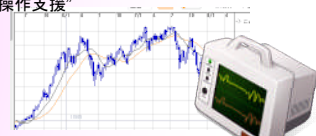
**パソコンの操作をラックラックに！**  
“高齢者のポインティングデバイス操作支援”



**気分にあう音楽を聞きたい！作りたい！**  
“プレイリスト生成システム”  
“作曲支援システム”



**ケータイやカーナビをもっと便利に使いやすく！**  
“ユーザの意図を推論する知的ヒューマンインタフェース”



**グラフ情報を言葉で要約すれば  
扱いやすくなる！**  
“時系列データの言語による要約”



**いろいろな種類の文書を自動分類したい！**  
“ドキュメントのクラスタリング”



**ブランドを情報としてとらえよう！**  
“ブランドイメージの情報論的モデルとシミュレーション”



**たくさんの情報から決断を下そう！**  
“不確定状況下での意志決定”